

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	精神障害者ホームヘルパー養成事業			会計	款	項目	大	小
				01	03	01	02	01
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	障害者支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	増田 恒夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	精神障害者居宅介護に従事しようとするホームヘルパー。	意図	研修受講者を増やすことで、精神障害者に対する理解を促し、ホームヘルパー従事者による支援を行いやすくする。
事業内容	市内にある介護事業所に所属するヘルパー等に対し、精神障害者へのホームヘルプ・サービスを提供するため、必要な知識を習得するための研修を受講してもらう。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年障害者自立支援法施行によりヘルパー資格取得者であれば精神障害者に対するホームヘルプサービスを行えることとなった。しかし、精神障害者に接する際にどう対応したらいいのか分からないという各事業所からの不安や、精神障害者理解の研修希望もあり実施してきたものである。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	研修に参加した人数	20	17	15	人	
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 本事業の対象となる精神障害者の障害福祉サービス利用者は年々増えている。本研修を修了した介護事業所の受講者も増えており、平成24年度において障害福祉計画の目標人数を達成した。
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		512,060	517,280	505,340			
事業費(b)(円)		290,000	290,000	290,000			
うち一般財源		290,000	290,000	290,000			
職員給与費(c)(円)		222,060	227,280	215,340			
人役・職員(人)		0.03	0.03	0.03			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	D 大幅に削減すべきである
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	アウトソーシング事業として行い、介護施設に対して、参加の働きかけを進める。	③取り組みの課題	養成講座の受講終了者が、精神障害者のホームヘルパーとなって、活躍すること。
②今年度(H24)に実施した取り組み	研修参加者を増やすための広報活動や介護施設に対して参加要請を行った。	④今後の改善計画	平成24年度で「障害者計画」に掲げた目標値を達成できたことから平成24年度をもって本事業は終了とするものである。